

整理番号：4－3

提言題名：道路の補修について

【提言要旨】

「市長への手紙」（343号線道路補修のお願い）に対して回答を頂きました。しかし、「注意観察強化する」と書かれていますが、具体的説明が何もないため「まあ一、文句言わず待っていなさい。そのうち考えますよ」と言われているように感じます。アスファルト道路の補修について調べたところ、次のような説明がありました。

劣化箇所を放置すると・・・

浅いひび割れができてしまった場合はすぐに補修しましょう。

初期は浅かったひび割れも、放置しておくと症状が悪化してしまいます。ひび割れに車の重みなどの圧力が加わることでどんどん・・・結果ポットホールと呼ばれる大きな窪みや穴になってしまうことがあります。

ポットホールの上を車やバイクが走行するとタイヤやハンドルが取られたり、歩行者は転んでしまったりすることがあります。

損傷が激しいアスファルトの補修にはパッチ剤を使う。

使用方法

1. 施工箇所の掃除を行い水や油、土や砂、小石等を取り除く
2. 少し盛り上がるように多めのパッチ材を敷き詰める
3. スコップなどで敷き均す
4. スコップの背でたたくなどして転圧する

上記の方法であれば、案外費用も安く簡単なのではないでしょうか？

松戸市の「なんでもやる課」のような組織で対応できないのでしょうか？

市内の道路は本当に酷い状態だと思います。特に343号線の損傷はひどいものです。自転車やバイクのハンドルを取られ転倒するような事故がおきてからでは遅いです。本格的な張替え舗装でなくても少し損傷部分の補修に目を向けていただけなでしょうか？

毎日早朝の地震のような振動には閉口します

（令和7年3月 受付）

【回答要旨】

アスファルト道路の補修について、ご提案いただきありがとうございます。

現在取手市管理課でおこなっている一般的な補修方法を説明させていただきますと、道路のクラック等のひび割れについては、フィラー（鉱物質粉末）入アスファルト等で施工を実施しており、雨水の舗装へのしみこみ防止や振動対策、現状の経過観察を目的としております。

舗装上の破損等については、比較的軽度な破損については、職員にてスコップなどを利用して、アスファルトの常温合材を充填・転圧をおこなっております。更に広範囲で深い損傷箇所については、現場作業員にて重機を使い、アスファルト加熱合材により対応しております。

今後も引き続き、当該道路につきましては、部分的な補修等は継続して実施していきたいと考えております。

（管理課 令和7年3月回答）